

会議記録

日 時：平成 29 年 5 月 15 日（月）13 時 30 分～14 時 15 分

場 所：高森町役場 中会議室

出席者：委員 計 15 名

事務局：健康福祉課 計 5 名

記 録：伊東

1. 開会

2. あいさつ

健康福祉課課長（福島）：食事に関する興味を持っていただき、食を楽しむ 1 つの機会としても
らえるようにしたい。

4 月からの職員（管理栄養士：伊東）のみ自己紹介を行う。

3. 協議事項

（1）29 年度の取り組みについて

宮澤（子育て代表）：29 年度取り組みについて各団体の皆様に出していただいたものを各団体
ら説明していただきたい。

【資料①参照（詳細・補足事項のみ下記に記載）】

古瀬（食生活改善推進協議会）：肥満割合の減少、高血糖割合の減少についてはグループで勉強
しているが指導はできない。

池野（みなみ信州農業協同組合）：朝食の欠食割合の減少は、朝市の中で数量限定ではあるが、
朝食を提供する。高血糖割合の減少は肥満割合の減少と内容は一緒になる。食育を理解して
いる割合の増加では、子どもの料理教室も行う予定。

宮澤（子育て支援センター）：食育を理解している割合の増加では、おやつ等一緒に食べる中で
家族がそろうまで待つことや片づけ、挨拶を学ぶ。12 月に父と子の料理教室を行う。

宮澤（子育て代表）：肥満割合の減少では、砂糖や小麦粉は与えやすく、肥満につながることを
伝えていきたい。

松川（町立保育園管理栄養士）：朝食の欠食割合の減少では、給食便りなどの配布物を通して家
庭に伝えていく。肥満割合については、カウプ指数・肥満度の高い園児は家庭と連携をとり、
給食の量を変えるなどの対応をしていく。高血糖割合では、朝食欠食がリスクになるため、
朝食の大切さ等を伝えていく。

林（私立保育園）：高血糖割合の減少については、給食便りを通して伝えていく。地産地消は、
取引業者さんをお願いをして、できる限り地域のものを使用していく。食育を理解している
割合の増加では、野菜作りや、「いただきます」の前に食べ物の働きについてのお話などを
聞き、食べることの意欲・大切さを育む。

門政（高森中学校）：食育を理解している割合の増加は、教科担任、委員会活動を通して理解を
広める。

小澤（学校給食センター）：肥満・高血糖割合の減少では、給食が1食の食事の見本となるように提供していく。食育を理解している割合の増加では、新しい給食センターを通して普及できれば良い。

青山（産業課）：産業課としては地産地消の増加が求められていると思う。ゆうきとの連携なども検討できたら良い。

古林（健康福祉課・事務局）：高血糖割合の減少では、高血糖の標語募集もしていく。

質問事項：保育園同士、学校同士での取り組みはあるか。

古林（事務局）：学校保健連絡会などを通し、情報共有をさせていただいている。

福島（課長）：各学校の独自性により取り組みが上に向かっていくと考えている。

新海先生、一般の方より各団体の取り組みを聞いての感想等をいただく。

新海（女子短大）：それぞれの団体で取り組みがあって良い。行動目標を立てる上で数値目標が出ていると分かりやすい。

松下（一般）：朝食含め、3食食べるようにしている。料理教室に出ている。梅干しの漬け方など郷土食を教わりたいので、そういう情報があれば出かけている。

小平（一般）：民生委員で親が子を育てられない施設に行った。食事は縦割りの6人1組で食べている。できることはないかと尋ねると、母親たちも大変なので助けてあげてほしいとのこと。子育て世代の欠食が多い。若いお母さんたちと食事について話を聞ける機会があると良い。心配していることは、食材の放射能の検査。地産地消であればそのような心配はないが、ここで出来るものではないので、放射能検査をしてほしい。

福島（課長）：東日本大震災があってから食材の放射能検査を行っている。ずっと続けており、今のところ基準値を超えたものは一つもない。

小平（一般）：これからも流されず続けてほしい。

古林（事務局）：（新海先生のお話を受けて）高森町では第2次食育推進計画で数値目標を出している。食育を理解している割合の横ばいが続いているため、町民の方々への理解につながると良い。各団体の皆様にご協力いただけたらと思う。

（2）その他

①株式会社タニタヘルスリンクとのセミナー開催についてのお話。

【資料②参照】

古林（事務局）：株式会社タニタヘルスリンクの管理栄養士さんにお越しいただき、セミナーを開催する。皆様にもご理解いただき、どなたでも参加していただけたらと思う。セミナーは4回で、1回目は「はかる！わかる！きづく！かわる！～食習慣からからだがかわる～をテーマに体組成計を用いて実施する。2回目は「学童期の朝ごはんセミナー」で小学校5、6年生を対象に、朝ごはんの大切さを知り、自分で食べられるようになることを目指していく。3回目は「幼児期の朝ごはんセミナー」で未就学の子ども保護者を対象に、朝から子どもの笑顔が見られる、子どもが食べやすいバランス食について実施する。4回目は1回目から半年経ってどう変わったかを本人と確認する食育セミナー（まとめ）を実施する。すべてのライフステージに向けて発信していく。

福島（課長）：それぞれの事業を情報として発信していきたい。一緒に取り組めるものがあれば一緒に取り組んでいければと思う。タニタヘルスリンクとのセミナーはきっかけとなると良い。それぞれの事業をやっていくことが高森町の食育の継続につながる。

古林（事務局）：次回は10月頃に取り組みの中間のまとめ、30年度に取り組み予定について実施したい。

福島（課長）：第2回の食育推進会議は新しくなった給食センターの見学・試食なども行えたら良い。保育園もまわってきたい。

古瀬（食生活改善推進協議会）：取り組みがこれからもできるようにご協力をお願いします。